

## 毎日登山発祥の地の碑 神戸港地方口一里山再度山



大龍寺の山門から仁王門に行く途中の、ハイキングコースと合流するあたりに、1978(昭和 53)年 10 月に建てられた「毎日登山発祥の地 善助茶屋跡」の碑がある。この碑がある場所はかつて善助茶屋があった場所である。

1905(明治 35)年頃、北野界隈に住む外国人達がハンター坂を登って、再度山に入っここ善助茶屋にサイン帳を置いて署名する習慣をつけた。これを知った元町周辺の人々がこれにならって山登りするようになったのが、神戸市民の毎日登山の始まりといわれている。大正から昭和 10 年頃までが全盛期で、この善助茶屋に多くの登山会のサイン帳が置かれていた。第二次大戦中毎日登山は一時途絶えたが、戦後復活し、今日に至るまで多くの市民が毎日登山に汗を流している。ただ、善助茶屋は戦後、訪れる人の数が少なくなり、最終的には撤去されてしまった。

場所：神戸市中央区神戸港地方字再度山 1-3